

○川又照雄議長 次， 1 番森山一政議員の発言を許します。 1 番森山一政議員。

〔 1 番 森山一政議員 登壇〕

○ 1 番（森山一政議員） 改めまして、おはようございます。 1 番森山一政でございます。議長より発言のお許しをいただきましたので、通告の順に従いまして、一般質問をさせていただきます。

初めに、 7 月の集中豪雨により甚大な被害を受けた熱海や西日本の多くの被災者の皆様に対し心よりお見舞い申し上げます。この頃の気候は温暖化の影響なのか、線状降水帯が重なったり、変化をしたりと、水害災害、土砂災害が起こりやすい状況になってきております。前の気候とは違い、降雨時には 10 % 以上多くの雨が降ると伺っております。先月の西日本大雨では前線の停滞が長引き、佐賀、長崎、福岡、広島の 4 県に甚大な被害をもたらしました。また、日本海側にも甚大な被害をもたらしました。

近年の気候は、地球温暖化の影響もあると思われますが、想像もつかないくらいに局地的に雨が降り、土砂崩れや洪水等の災害が頻繁に起きております。災害が発生する際の降雨時の河川の状況や水位が確認できるように、国土交通省の河川を監視する河川監視カメラや危機管理型水位計があり、水位観測がインターネットで見られるようになっております。激甚化に対応するために、久慈川の河川を監視するカメラを 9 基から 14 基に増やし、水位計は 14 基から 30 基と、約 2 倍に設置されました。早い時期に災害が予測できたら減災にもつながるのではないかと考えております。

民間の企業や自治体でも、AI、人工知能を生かした過去のデータ、外部のデータを用いて自然災害がどこで起きるのか、多発するのか分析をして、そのデータを活用して解析をし、予測と備えにより被害を最小限に抑えることができるということで進められております。情報発信は早ければ早いほど良く、判断も早くでき、避難もスムーズにでき、早め早めの対応ができるのではないかと考えております。

そこで、1 として、人工知能を生かして水害災害を予測し、市民の方々に対して素早い情報発信の取組について計画があるのか伺いいたします。

一方、市では一昨年の台風 19 号では、整備計画目標よりも大きく上回る洪水が発生し、決壊や越水が発生しました。自然を生かした遊水を貯める霞堤や堤防を改修して、崩れない堤防補強工事等を進めていると聞いております。

2 として、一昨年の台風 19 号の大雨により決壊をした箇所に対してどのような対策を進めているのか、また進捗状況について、あわせて現在進められている堤防補強工事等の水害対策についても伺いいたします。

次に、にぎわいと魅力あふれるまちづくりを創出するため、現在、国道 349 号バイパス沿いにおいて、東部土地区画整理組合と市の両輪で進めております東部土地区画整理事業について伺いいたします。

常陸太田市には水戸八景のうちの山寺の晩鐘と太田落雁と言われる名勝があります。どちらも水田地帯があり、米どころでもありました。その一つ、真弓千石と呼ばれる水田地帯の一角を埋

立てて、東部土地開発商業施設の造成工事をしております。計画では、一部は令和5年にオープンする予定と伺っております。広い水田地帯を埋立てて商業施設を造成しております。

そこで気になるのが、26ヘクタールの水田地帯を埋め立てることにより、自然を生かした遊水地がなくなることです。水田は災害時には洪水被害を緩和する自然のダム役目をしており、降雨時の水害対策では常に大きな役割を果たしている場所であると思っております。今までは水田が雨水を貯めていましたが、一気に流れていき、雨水は源氏川に流れて、里川に流れ、久慈川に流れていきます。川の水位が上がれば水門を閉鎖しなければなりません。川の水の逆流を防ぐためですが、内水は溜まっていき、池になってしまいます。

そこで、1として、埋立てをした26ヘクタールの雨水の処理をどのように行っていくのかお伺いいたします。

次に、東部土地地区画整理事業は、市民にとって新しいまちが国道349号沿いにできることで常陸太田市にとってにぎわいと雇用を創出し、市民にとっても期待される事業だと思っております。市役所から工事の状況を見ておりますと、着々と進んでいるのが見て取れます。私は、近隣の市などと比べて、まちのにぎわいが遅れているように感じておりましたが、ここに商業地域が出現すれば挽回できるのではないかと考えております。

総面積26ヘクタールの東部土地地区画整理事業は、本市にとって今までにない最大の事業であり、常陸太田市の経済等に大きく寄与するものと思っております。土地の所有者が組合をつくり、減歩によって得られた資金で業務代行業者に委託をし、市としても予算を計上して、組合とともに事業を進めております。令和3年12月には警察署に土地の引渡しをすると伺っております。また、令和5年には、カインズホーム、ヨークベニマルが開店すると聞いております。26ヘクタールのうち17ヘクタールはヨークベニマル、カインズホーム、太田警察署、太田さくら認定こども園、道路、公園、調整池等に使い、残りの35%に当たる9ヘクタールに今後どのような企業が入ってくるのか、大いに興味があります。市民の方々からは、市内にはないホテル、アパレルショップ、書店、ゆっくり休んでくつろげるコーヒーショップ等が入ってくればいいなというような話を聞いております。

そこで、2として、新警察署の建設の今後のスケジュールについて、開署はいつ頃の予定なのかお伺いいたします。

3として、土地を契約している企業は令和5年の開店を計画していると聞いておりますが、土地の整備が順調に進み、計画どおりに開店できる予定なのかお伺いいたします。

4として、事業の成功の鍵は、進出企業の誘致にかかっていると思います。宮田市長はかつて、県において産業立地推進東京本部長として、本県への企業立地、誘致に大いに手腕を発揮されたと伺っております。市は今後の企業誘致の取組をどのように進めていくのかお伺いいたします。

今回の一般質問は、災害対策について、現在の状況と今後の見通しについてと、農業から商業・工業へと転換を目指す東部土地地区画整理事業について、現在の状況と今後のスケジュールについてお伺いしました。前向きな答弁をよろしくお願いいたします。

以上です。

○川又照雄議長 答弁を求めます。総務部長。

〔綿引誠二総務部長 登壇〕

○綿引誠二総務部長 災害対策についての、人工知能を生かして水害災害を予測し、市民に対して素早い情報発信の取組について計画しているのかのご質問にお答えいたします。

本市におきましては、今年度から事業を開始いたします防災行政無線のデジタル化事業におきまして、災害に係る情報の収集及び発信体制のさらなる強化を図ることを検討してございます。

内容につきましては、システムに複数の情報を自動で取得する情報収集機能を持たせまして、これらの情報を大型ディスプレイに一括して表示し、情報の一元管理を行うとともに、それぞれの情報に係る閾値をあらかじめ定めまして、登録いたしまして、閾値を超えた場合にはシステムが判断をいたしまして、アラート通知がされることによりまして、避難情報発令等の判断を迅速かつ的確に行われるよう、システムの整備を進めてまいりたいと考えております。

また、現在、国におきましては、市町村の災害対応における市町村災害対応統合システムについて、人工知能を活用したシステム開発及び実証実験が行われております。このシステムは、災害時に大量の災害情報が発生する中で、市町村長が適切な避難情報の発令や緊急活動の優先順位づけ等の判断を下すため、人工知能を活用して災害情報を処理し、適切なリスク評価を行い、避難対象エリアと避難タイミングの合理的な抽出を行うなどの判断支援を可能とするものでございます。このシステムが市町村で活用されるようになると、避難対象エリアの選定や適切な避難指示等判断がより一層深化されまして、市民のいち早い避難行動につながることを期待されますことから、今後の国の動向について情報収集に努めまして、当市が整備を検討いたしますシステムとの互換性などについて研究してまいりたいと考えております。

○川又照雄議長 建設部長。

〔古内宏建設部長 登壇〕

○古内宏建設部長 災害対策についての２点目の、一昨年の台風１９号により堤防が決壊しました２河川の対策と進捗状況についてお答えいたします。

まず、松栄町の浅川右岸の堤防２か所につきましては、県管理河川ではありますが、直轄権限代行としまして国土交通省により堤防の本復旧工事が完了し、引き続き県により堤防補強工事としまして、左右兩岸の堤防ののり尻ブロック設置や堤防幅の拡幅とかさ上げ、天端の舗装及び河川内の樹木伐採を施工中でございます。

また、茅根町、常福地町の里川の堤防決壊箇所につきましては、県により堤防本体の本復旧工事が完了し、あわせて災害関連事業としまして、堤防のかさ上げや河道掘削などの河川改修工事が進められているところでございます。

次に、水害対策としましては、国の久慈川緊急治水対策河川事務所により、治水対策プロジェクトとして、令和６年度をめどに、堅磐町で久慈川の堤防整備や、上河合町、下河合町において河道掘削や河川内の樹木伐採が行われており、久慈川右岸の那珂市額田地区におきましては、洪水時に湛水を目的とした霞堤の新たな整備が進められております。

同じく、国の久慈川上流、下流出張所によりまして、本年度中をめどに、国土強靱化計画とし

て、久慈川の上河合町、下河合町、里川の里野宮町から三才町、内田町、落合町、山田川の島町から大里町地内において、堤防ののり尻ブロック設置や堤防幅の拡幅とかさ上げ、及び堤防天端の舗装など、水害対策が進められているところでございます。

続きまして、東部土地区画整理事業についての3点のご質問にお答えいたします。

初めに1点目の、埋立てをした26ヘクタールの雨水の処理をどのように行っていくのかについてのご質問にお答えいたします。

埋立てをした事業地の雨水処理としましては、太田さくら認定こども園の北側に北調整池と金井近隣公園の南側に南調整池の2か所を整備し、雨水管を通じて一度調整池に雨水を入れ、排水ポンプにより雨水幹線へ排出していきます。

下流側に位置する南調整池につきましては、計画面積が約9,000平方メートル、容量が約1万立方メートルであります。

工事の進捗状況につきましては、今年度に基礎工事として鋼矢板による止水壁工事が完了しており、今後、排水ポンプの設置工事などを年度内に着工し完成する見込みとなっております。

北調整池につきましても、計画面積が約1万平方メートル、容量が約1万9,000立方メートルであり、土地造成に合わせて設計工事を予定しております。

次に、2点目の新警察署の建設スケジュールと、開署の予定についてのご質問にお答えいたします。

新警察署の建設スケジュールにつきましては、12月の土地引渡し前までに組合と茨城県警で保留地売買契約を締結する予定となっております。そのインフラ整備につきましては、整地及び隣接する国道側の排水整備工事が完了しており、上下水道工事につきましても着手しているところでございます。なお、茨城県警では土地引渡し後の来年2月から建築工事に着手をする予定となっております。また、開署予定につきましては、令和5年度中を考えているとの話を伺っております。

続きまして、3点目の土地の契約している企業は令和5年に開店を計画していると聞いているが、土地の整備が進み、計画どおりに開店できる予定なのかについてのご質問にお答えします。

開店を予定しているA街区の株式会社フォレストモールとB街区の株式会社カインズへは、来年4月と5月にそれぞれ土地を引き渡す予定となっております。

工事の進捗状況につきましては、A街区は整地が完了し、現在、区画道路や雨水管、上下水道などのインフラ整備を進めております。B街区は盛土が完了し、圧密沈下を経過観測している状況であります。また、車両の全面通行止めにより工事をしております新宿西宮線につきましては、年内完成を予定し、接続します区画道路や雨水幹線、上下水道管などインフラ整備を年度内に完成する予定となっております。なお、A街区とB街区の開店につきましては、土地の引渡し後に建築工事に着工し、計画どおり令和5年の予定で進めていると伺っております。

○川又照雄議長 商工観光部長。

〔中野亘商工観光部長 登壇〕

○中野亘商工観光部長 東部土地区画整理事業についてのご質問のうち、4番、企業誘致の取り

組みをどのように進めていくのかについてのご質問にお答えいたします。

東部土地地区画整理事業用地における企業誘致につきましては、特にC、D街区について、東部地区全体の魅力向上や街区全体の活性化が図れる企業の誘致に努めております。

C街区におきましては、市民アンケートで要望の多い書店、カフェ、アパレル等の企業誘致に努めるとともに、市内事業者の東部土地地区画整理事業用地への進出機会を確保するため、今年度、官民連携による基盤整備検討調査業務として、市内事業者が出店しやすい仕組みづくりについて検討調査を進めているところでございます。

また、D街区においては、主に事業用地として、物流や製造業など業種を問わず、市内での雇用の創出につながる企業の誘致を図っているところでございます。

当該用地への立地に際しては、市独自の固定資産税の課税免除や立地奨励金、指定業種への特別の優遇制度などを紹介しながら、県や金融機関のほか、デベロッパー等の関係事業者との連携を密にし、新たな企業の誘致を進めてまいります。

○川又照雄議長 森山議員。

〔1番 森山一政議員 質問者席へ〕

○1番（森山一政議員） 1回目の答弁ありがとうございました。それでは、質問の順に意見を述べさせていただきます。

今、防災行政無線のデジタル化を進めております。アナログ無線からデジタル無線に令和7年度からの5年間で変える準備をしていると伺っております。そこで、洪水被害や災害を予測する人工知能を生かし、発信ができましたら、人的災害が相当減少するのではないかと考えております。無線のデジタル化と人工知能の予測の活用を組合せることで情報発信ができ、被害を最小限に抑えることにもつながると思っております。情報の一元管理を行い、閾値を定め、避難情報の発令をするとのことですので、前向きに検討していただき、進めてもらえればと思っております。よろしくお願いいたします。

次に、2の災害対策についてです。

災害対策ですが、国土交通省により堤防の本復旧工事は完了したとのことで、国土強靱化計画として、久慈川の上河合町、下河合町、里川の里野宮町から三才町、内田町、落合町、山田川の芦間から大里地区の堤防のブロック設置、堤防の拡幅工事等、水害対策をしているとのことで、これからも続けてもらい、安全安心の確保につながるようよろしくお願いいたします。

東部土地開発についてです。

1番として、26ヘクタールの埋立ての水の処理は、調整池と排水ポンプで排水処理をするとのことで理解しました。ただ、大雨が降ったときの、その雨水の流れていく場所が気になるところでもあります。

2と3の警察署とカインズホームについては予定どおりに進むというような話で理解いたしました。

4番のC、D街区には固定資産税の課税免除や立地奨励金、県、デベロッパー等の関係事業者との連携をしながら、新たな企業の誘致を進めているとのことです。ただ一つ、今、企業がどこ

か決まっている場所があれば、教えていただければと思いますけれども。

○川又照雄議長 商工観光部長。

○中野亘商工観光部長 現在、何社かから問合せ等を受けておりますが、まだ発表する段階となっておりませんので、ご了承いただきたいと思います。

○川又照雄議長 森山議員。

○1番（森山一政議員） 分かりました。それでは、これからも続けて常陸太田の発展のため、商店街の活性化のため、よろしくお願いいたします。

それでは、これで一般質問を終了させていただきます。ありがとうございました。